

平成26年12月度定例観察会報告書

六甲山自然案内人の会

実施日：平成26年12月13日（土）

天候：晴れ時々曇り

担当班：4班

テーマ：風化した花崗岩の荒々しい風景を楽しむ

コース：阪急芦屋川駅～ロックガーデン（中央稜～風吹岩）～横池～保久良神社～
桜守公園～阪急岡本駅（JR摂津本山駅）

見どころ：
・ロッククライミング発祥の地でちょっぴりクライマー気分を味わいます。
・風化した花崗岩の山肌が荒涼とした風景を見せています。
・風吹岩からの眺望（大阪方面の雄大な景色が広がります。）
・歴史ある保久良神社の神秘的な杜

参加人員：ビジター 24名 会員 30名 合計 54名

配布資料：コースマップ、有馬温泉と魚屋道

タイムスケジュール

- 9時50分 出発式。
- 10時15分 高座の滝でトイレ休憩
- 10時30分 堰堤上でロックガーデンの説明
- 11時00分 鉄塔着
- 11時30分 展望台
- 11時50分 横池にて昼食
- 12時45分 風吹岩
- 13時05分 魚屋道から保久良神社への分岐
- 13時30分 金鳥広場
- 14時00分 保久良神社
- 14時50分 桜守（岡本南）公園にて解散

概要

朝晴れたものの前日よりの冷え込みが厳しく参加者が減るのではと心配でしたが24名ものビジターにご参加いただきました。阪急電車に多少の遅れが発生したため9時35分ころまで駅にて案内。山芦屋公園に誘導し出発式。挨拶のあと注意事項の説明やストレッチをして出発。途中、住宅の庭先の草花（サネカズラ、ジュウガツザクラ、マユミ、キダチコマツナギ等）を楽しみながら高座の滝まで一気に登りました。

トイレ休憩のあとロックガーデンを堰堤まで急登（オオアリドオシ、ヌルデ、カキ等）全員集合して講師から日本の近代登山の歴史とロックガーデンの説明を聴きました。ここから登り中間地点の鉄塔までは講師から習った三点確保を行いながらロッククライミ

ングの雰囲気をつっぷり味わいました。岩場には荒地特有の植物（マツ、ネズ等）がありましたが安全確保のため立ち止まっただけの説明は行いませんでした。

鉄塔ではグループごとに小休止と水分、甘味の補給。ここから墓場（万物相上部）までは周囲の植生が変わりウバメガシ等の常緑樹中心の林となりソヨゴ、イヌツゲ等には実もついでいました。

墓場で六甲花崗岩の風化（真砂土化）を身を以て体験して頂きました。皆さん滑り落ちないように用心しながらも果敢にアタックしていました。最上部の展望台へは直登し大阪平野や大阪湾（チヌの海）、遠く紀州の山々の眺めを楽しみました。風吹岩の横を通り横池まで15分（カラスザンショウ、コバノミツバツツジ、カゴノキ、シロダモ）。予定よりかなり早く昼食場所に到着です。池の周りには霜柱が残っています。日向を選んでお弁当を広げました。

12時30分まで休憩の予定でしたが風が強く寒いため10分ほど早く1月定例観察会とエキスパート講座の案内を行い池の周囲を歩いて風吹岩へ。

風吹岩では子供たちのグループが大勢で食事中のため「荒地山」等の周囲の眺望を簡単に説明し魚屋道を降るルートへ。上部の方は荒れていますが程無く歩きやすい道になり周囲の植物を観察する余裕が出てきました。（ツルアリドオシ、ヤブコウジ、タカノツメ、アベマキ等）

桜の樹の分岐で魚屋道と有馬温泉の解説。ここで魚屋道を離れ右手を金鳥山方面へ。（シロダモ、タカノツメ、クチベニタケ、ベニシダ、オニグルミ等）

もう一度桜の樹のある所でさらに右手に降り（ヒノキ、スギ）植林地を通り金鳥広場へ。広場で小休止していると西の空に黒雲が湧いてどんどん東に向かって来るのが見えました。太陽が隠れると風が冷たく急いで保久良神社に向かい下山。（シロダモ、ヤブニッケイ、エゴノキ等）途中雪がちらつきました。

保久良神社の杜では「神生岩」、神社の縁起、マザーツリー等説明。（ヤマモモ、クロガネモチ、アカガシ、シャシャンボ、ヤブツバキ等）

トイレ休憩と「灘の一つ火」等説明しながら（タラヨウ、丹波層群の露頭、サネカズラとキベリハムシ等）岡本八幡神社前まで舗装路を降りました。

ゴールの桜守（岡本南）公園までの川筋ではこの日初めてイノシシを見ました。対岸にはアオギリ、ナツメ、足元にはスマレ等が観察できました。

公園では笹部新太郎と桜について説明し解散となりました。途中険しい場所がありました。が参加された皆様のご協力で全員無事に到着できました。有難うございました。

報告：田丸

